



平成30年度第1回（震災後第87回） 陸前高田市未来図会議



平成30年5月31日（木）13:30～15:30
夢アリーナたかた ミーティングルーム

一 次 第 一

◆本日のテーマ

他分野が仕掛ける“はまかだ”

- 1 開 会
- 2 挨拶 陸前高田市 民生部保健課包括支援係 副主幹 佐藤 咲恵
- 3 内 容

(1) 「未来図会議について」 (5分)

陸前高田市 民生部保健課保健係 保健師 佐藤 沙希

(2) 「グッジョブケセンについて」 (20分)

一般社団法人 陸前高田青年会議所 地域の未来創造委員会 委員長 加藤 隆史 氏

(3) 「夢アリーナたかたの施設概要と理念」 (10分)

陸前高田市 生涯学習課スポーツ推進係 副主幹 岡淵 貴悦 氏

(4) 「観光からみた“はまかだ”」 (20分)

一般社団法人マルゴト陸前高田 代表理事 伊藤 雅人 氏

(5) 参加者の皆さまと“はまっぺけらいん、かだっぺけらいん” (40分)
テーマ：「参加者それぞれのはまかだ」

(6) 「“はまっぺ、かだっぺ” に始まる

ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」 (15分)

陸前高田市ノーマライゼーション大使 岩室 紳也 氏

4 その他

5 閉 会・アンケート記入

【次回】

平成30年10月19日（金） 13:30～15:30 陸前高田市コミュニティーホール 大会議室
テーマ：「結果はまかだ から 仕掛けはまかだ へ（仮）」

はまかだとは



- ・ **はまっぺけらいん** (仲間に入って)、**かだっぺけらいん** (話しましょう) の略称。
- ・ 立ち話やご近所でのお茶っこのみ、趣味仲間での集まりなど、いつでも・どこでも・なんでも “はまかだ”。
- ・ 話を聞いてもらったり、時間を共有することでお互いの心が癒され、安心感が生まれる。



未来図会議とは



住民の生活にかかわる関係者が集まり、住民一人ひとりの**健康で文化的な生活**及び**ノーマラセーション**という言葉の**いらぬ****まちづくり**の実現を目指し、震災からの復興に向けた地域にとって望ましい体制づくりに寄与し続けられるよう、**健康や幸せを感じられるまちづくり**に関する中長期的な展望を議論する。

これまでは

「陸前高田市**保健医療福祉**未来図会議」



これからは

「**陸前高田市未来図会議**」

健康や幸せを感じられるまちづくり

未来図会議



“はまって、かだつて”に始まる
ノーマライゼーションという言葉の
いらないまちづくり

ヘルスプロモーション推進センター
(オフィスイわむろ)

陸前高田市ノーマライゼーション大使

岩室紳也

はまかだ^で

健康づくりも

まちづくりも

ノーマライゼーションも

犯罪予防も

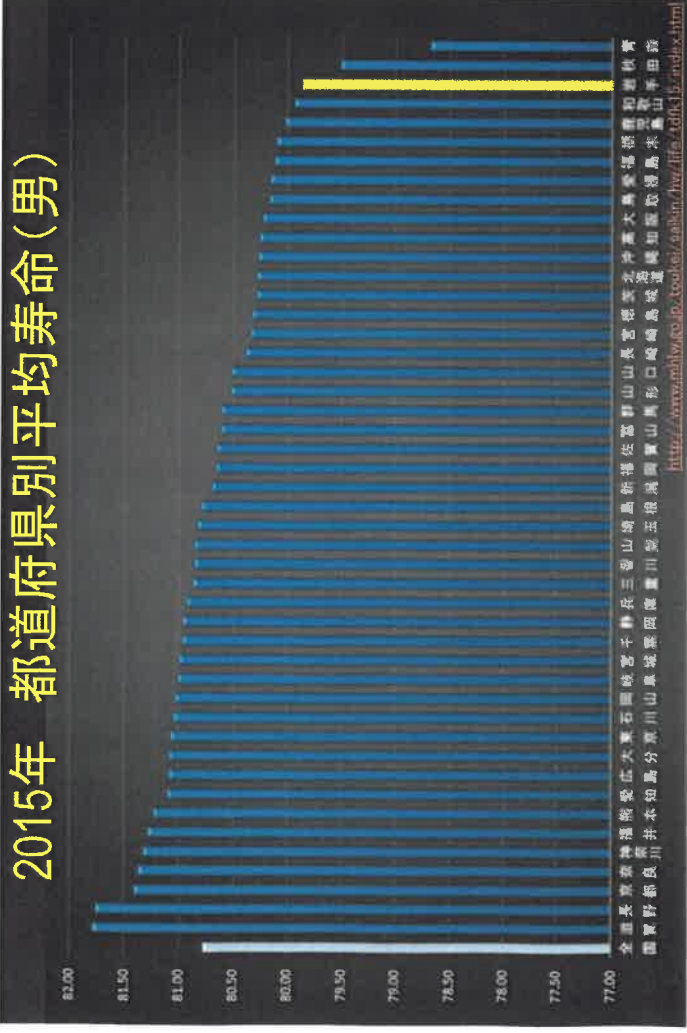
はまかだ^で
健康づくりの**実績**が

2015年 都道府県別平均寿命(男)

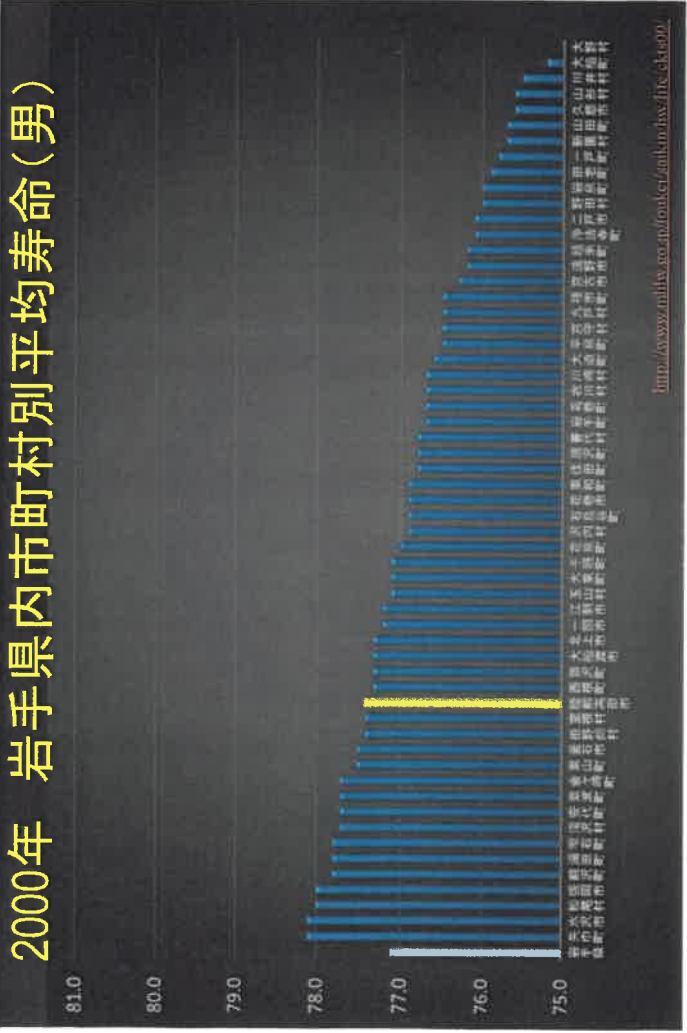


<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saohou/taishou/taishou15/male.html>

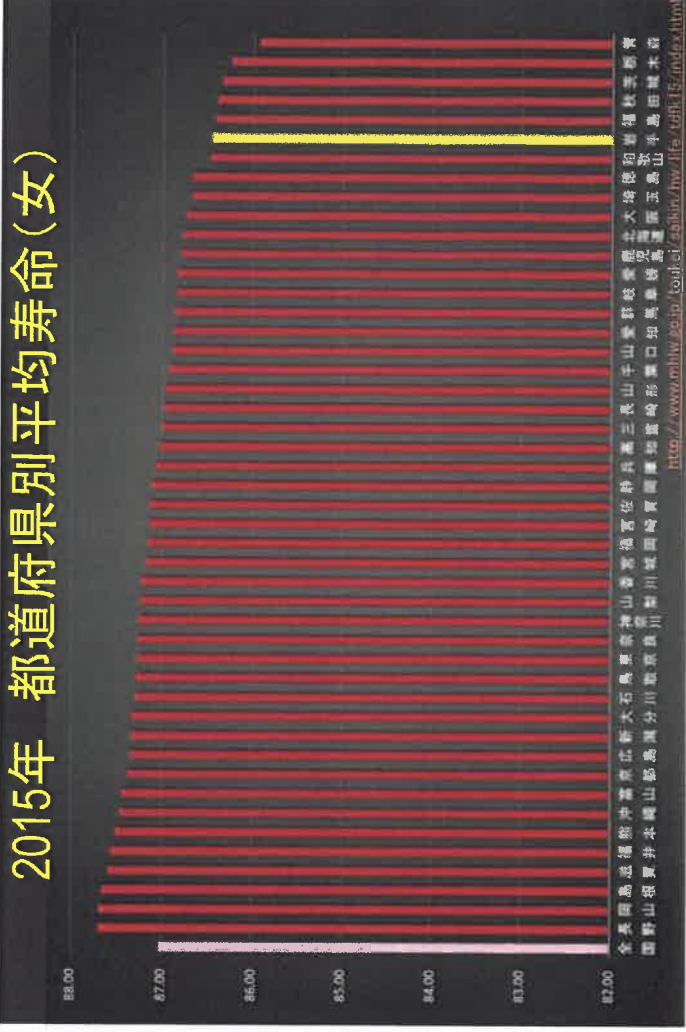
2015年 都道府県別平均寿命(男)



2000年 岩手県内市町村別平均寿命(男)



2015年 都道府県別平均寿命(女)



2005年 岩手県内市町村別平均寿命(男)



2010年 岩手県内市町村別平均寿命(男)



2015年 岩手県内市町村別平均寿命(男)



2000年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



2005年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



2010年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



2015年 岩手県内市町村別平均寿命(女)



2015年 都道府県別平均寿命(女)



国もはまかだを推奨

健康日本21(第2次)概念図

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

生活の質の向上

社会環境の質の向上

①地域のつながりの強化

〈ソーシャルキャピタルの向上〉

①地域のつながりの強化

〈多様な活動主体による自発的取組の推進〉

②健康づくりに主体的に関わる国民の割合の増加

③健康づくりの活動に主体的に取り組む企業数の増加

④健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる

民間団体の活動拠点数の増加

〈健康格差の縮小〉

⑤健康格差の実態を把握し、対策に取り組む自治体の増加

「つながり（はまる）」

たとえば

「絆」?

ソーシャル・キャピタル (絆(きずな)、ほだし(ほだし)がある居場所) の三要素

信頼

お互い様の
ネットワーク
だから生まれる



ネットワーク
(つながり)

つながっているから

規範 (互酬性)
お互い様

絆(きずな): つながり、むすびつき

絆(ほだし): 手かせ、足かせ、束縛、迷惑

はどう読みますか

絆

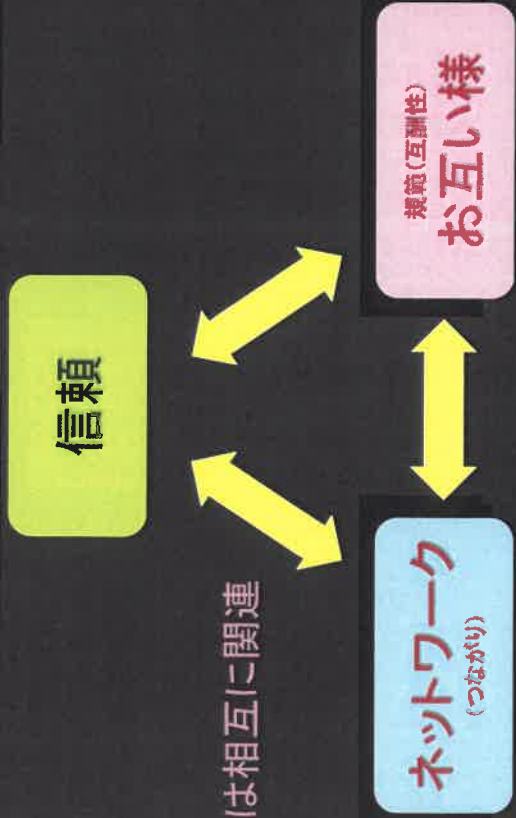


絆(きずな)
(つながり むすびつき)

絆(ほだし)
(手かせ 足かせ 束縛 迷惑)

ソーシャル・キャピタルの三要素

(絆[きずな]が強いところ)



3つは相互に関連

絆(きずな: つながり、むすびつき)

絆(ほだし: 手かせ、足かせ、束縛、迷惑)

ソーシャル・キャピタルの効用

(絆[きずな]が強いところ)

健康面の効用

- 総死亡率 ↓
- 自殺率 ↓
- 自覚的健康度 ↑
- 健康行動 ↑
- 喫煙率 ↓
- 運動習慣 ↑

ソーシャル・キャピタル(絆[きずな]が強いところ)

健康以外の効用

- 行政効率
- まちおこし
- 防災対策
- 治安・防犯
- 子育て
- 教育
- 就労
- 経済成長
- 技術革新

平成26年度厚生労働科学研究費(健康安全・危機管理対策総合研究事業)「地域健康増進におけるソーシャル・キャピタルの活用」の取り組みに関する研究」
http://www.hiroshima-u.ac.jp/~hiroshima/ir/ir.html

はまかだで
ホームライゼーション

ホームライゼーションという言葉の知らないまちづくり
アクションプラン



平成27年6月
藤崎高田町

「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」とは

一人ひとりが、

自分自身の、そして相手の、

障がい、年齢、セクシュアリティ、

病気、国籍、犯罪歴といった個性を

意識することのない、

誰もが暮らしやすい、住みやすいまち

「ノーマライゼーションという言葉が必要なまち」とは

一人ひとりが、

自分自身の、そして相手の、

障がい、年齢、セクシュアリティ、

病気、国籍、犯罪歴といった個性を

意識しながら、意識させられながら

暮らさざるを得ない、ストレスの多いまち

コミュニケーション行為

自己中心的な成果を志向する戦略的行為とは異なり、

「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」が大事

相互に了解を志向しながら強制なき合意形成を目指す

言語行為を指す。



(ユルゲン・ハーバーマス)

未来図会議

はまかだで

ノーマライゼーション

と

犯罪予防？

ソーシャル・キャピタルの効用

(絆きずな+ほだしがある居場所)

健康面の効用

総死亡率 ↓

自殺率 ↓

自覚的健康度 ↑

健康行動 ↑

喫煙率 ↓

運動習慣 ↑

健康以外の効用

行政効率

まちおこし

防災対策

治安・防犯

子育て

教育

就労

経済成長

技術革新

ソーシャル・キャピタル(絆きずな+ほだし)がある居場所)

埼玉県産業立地科学研究所(埼玉県・高橋市野間町野間総合市民センター)
「地域振興事業」におけるソーシャル・キャピタルの活用に関する研究」
http://www.apha.go.jp/kyouka/kyouka_010.html

熊谷晋一郎先生に学ぶ

障害者殺傷事件2か月

障害者・家族の思い
"分け隔てない社会を"



<https://www.facebook.com/uxamuro/videos/1445658258561920/?permPage=1>



相模原

19人殺害障害者

障害者施設 2月に犯行

(障がい者は不幸をつくることしかできない!)

読賣新聞

2016年7月26日

7月27日水曜日



殺人事件

相模原障害者施設 19人殺害
犯人は20歳代の男性で、被害者は障害者施設に収容されていた。事件は2月25日に発生し、犯人は3月1日に逮捕された。事件は社会に大きな衝撃を与え、障害者に対する安全対策の重要性が改めて認識された。

施設名や手口未詳
犯人の動機や手口についてはまだ不明な点が多い。被害者の中には重度の知的障害者も含まれていた。事件は全国的に注目を集め、政府や自治体は施設の見直しやセキュリティ強化の議論を始めた。



こんな声も

現場に立ち入り、私が思ったのは、犯人は障害者に自分を投影している、という事でした。
 これ自体私の妄想かもしれませんが、そう考えれば納得できる現場でした。

大切にされている実感を持たずに生き、自分より弱い者を大切に感じる感覚がわからず、生産性のない存在は必要ない、と自分が他者から受けてきた扱いから確信するようになったのではないか。

和歌山県 植松容疑者の「正気」と闘うために

被害者の声 被害者支援センター



「社会の敵排除」の確信犯

広がる「生産能力ない人」は無価値

東京新聞
 こちら特報部
 2016年7月30日

でも、社会は個人の問題に

THE YOMIURI SHIMBUN

読真新聞

2017年(平成29年)

2月21日 火曜日

相模原殺傷

容疑者「自己愛性障害」

鑑定留置終了、起訴へ



相模原市緑区で発生した殺傷事件の容疑者、20歳の男性が、自己愛性障害と診断された。鑑定留置が終了し、起訴される見込みだ。

相模原市緑区で発生した殺傷事件の容疑者、20歳の男性が、自己愛性障害と診断された。鑑定留置が終了し、起訴される見込みだ。事件発生後、容疑者は相模原市立病院に収容され、精神科医による診断を受けた。診断結果によると、容疑者は自己愛性障害と診断された。自己愛性障害とは、自己を過度に大切にし、他人を軽蔑する傾向がある精神疾患だ。容疑者は、事件発生前から周囲の人々に対して攻撃的な態度を示していたとされている。

事件発生後、容疑者は相模原市立病院に収容され、精神科医による診断を受けた。診断結果によると、容疑者は自己愛性障害と診断された。自己愛性障害とは、自己を過度に大切にし、他人を軽蔑する傾向がある精神疾患だ。容疑者は、事件発生前から周囲の人々に対して攻撃的な態度を示していたとされている。また、容疑者は事件発生直前に、インターネット上で「自分を守るために」というメッセージを投稿していたとされている。このメッセージからは、容疑者が自分を守るために事件を起こしたと推測されている。

自立は、依存先を増やすこと 希望は、絶望を分かち合うこと



熊谷晋一郎

<https://www.tokyo-nippon.co.jp/bulletin/article/651interact.html>

みつめる
相模原殺傷事件



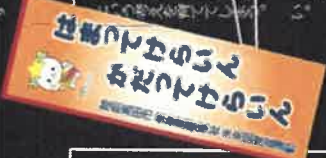
相模原市のあり方について
田中 隆雄氏
「事件発生後、相模原市は大きな変革を遂げなければならない。市民の声をしっかりと聞き、未来を共に描いていく必要がある。」

感じたこと口にする機会を

「事件発生後、相模原市は大きな変革を遂げなければならない。市民の声をしっかりと聞き、未来を共に描いていく必要がある。」

「事件発生後、相模原市は大きな変革を遂げなければならない。市民の声をしっかりと聞き、未来を共に描いていく必要がある。」

「事件発生後、相模原市は大きな変革を遂げなければならない。市民の声をしっかりと聞き、未来を共に描いていく必要がある。」



読真新聞

2017年(平成29年)

2月25日 土曜日

私たち大人は、障害のある人を手助けしなければいけない存在、自分は手助けする存在」と思い込んでいる。私と彼らは根本的に違う存在」という捉え方は、事件を起こした容疑者と同じだ。

間違いだらけの薬物対策

ダメ絶対運動

ダメ。ゼッタイ。

は

ダメ？ 絶対？



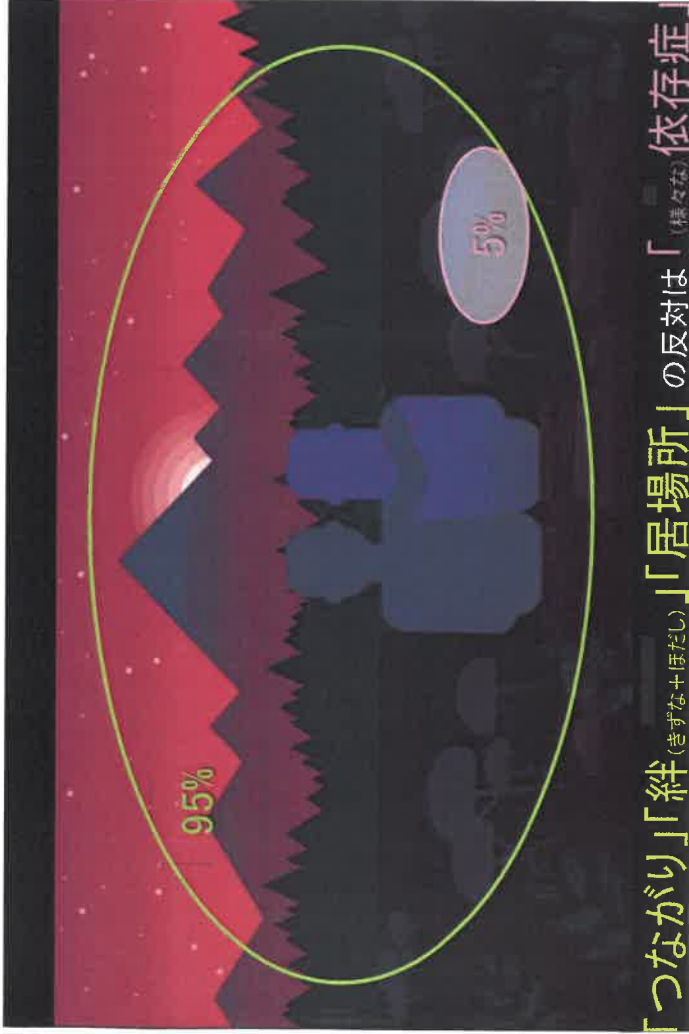
「つながり」「絆(きずな+ほだし)」「居場所」の反対は？

Addiction

(当委員会はここから)
(vttファイルと一緒に置く)PowerPoint2016で動作確認済)

https://www.youtube.com/watch?time_continue=7&y=ao8l_-0nSYzE

依存先を増やすソーシャル・キャピタル(絆きずな+ほだし)づくりを



ソーシャル・キャピタルという言葉のいらぬままづくり
アクションプラン



平成27年6月
藤前高田町

